

浜中町立茶内小学校 家庭学習の手引き



保護者の皆様へ

茶内小学校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。学校と家庭が連携し合うことにより、子どもたちの力が更に高まることと思います。

保護者の皆様には、この「家庭学習の手引き」をお子さんと一緒に活用していただき、より充実した内容の学習に取り組めるよう、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

1 家庭学習のねらい

学習習慣をつける

基礎学力をつける

学習意欲を伸ばす

家庭学習のねらいとして、以下の3点が挙げられます。

- ①家庭での学習習慣をつける。
- ②基礎学力をつける。
- ③自発的な学習意欲を伸ばす。

中でも大切なのは、「家庭での学習習慣をつける」ことです。小学校のうちに毎日一定時間机に向かう習慣をつけることが、中学校以降の学習に大きく役立ちます。

2 家庭学習の取り組み方

①まずは宿題

②次に自主学習

合わせて学年×10分+α

- ①最初に学校から出された「宿題」に取り組む。
- ②その後、自主学習に取り組む。次ページ以降の「こんな家庭学習をしよう」を参考にしてください。



3 家庭学習のポイント

「ながら勉強」はしない

良い姿勢

丁寧な字で

学習の効果を最大限に発揮させるために、上の3点を心がけてください。

こんな家庭学習をしよう（5・6年生）

目標時間
50～70分

まずは、先生から出された宿題をやりましょう。

<国語>

- 今、勉強しているところや、これから勉強するところを声に出して読みましょう。
- 漢字ドリルを見ながら、「とめ」「はね」「はらい」に注意していいいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「熟語」や「短文」で書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味を書いておきましょう。（調べる前に、意味を予想してみましょう。あたっているかな？）
- 心に残った出来事に題名をつけて、習った漢字をできるだけたくさん使って日記を書きましょう。

<算数>

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。
（同じ問題を何度も練習すると間違えないで早く解けるようになります）
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。問題を解いたら○つけをしましょう。
- 間違えたら、「どうして間違えたのか」を考えて、やり直しをしましょう。
- テストを返してもらったら、間違えた問題をもう一度解き直しましょう。
- 次の日にやる問題の解き方を考えて、やり方をノートに書きましょう。

<社会・理科>

- 大事なところに線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。
- 大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。
- まだ学習していないところの教科書を読み、わからない内容や興味のあることを図鑑や事典・インターネットなどで調べましょう。
- 教科書に出てきた地名や国名を、地図帳で調べましょう。（〇〇県〇〇市は日本のどのへんかな？）

<その他>

- 家にある問題集に取り組むのもいいですね。答え合わせをして、間違いは直しておきましょう。
- 上に書かれていない学習を自分で考えてしてみるのもいいでしょう。

- 次の日の時間割をそろえましょう。
- 鉛筆を削り、筆箱の中を整えましょう。